

日本福祉大学後援会
第38回 定例総会
議案書

2026年6月28日(日) 11:15~12:00

◆議 事

1. 2025年度事業報告(案)について
2. 2025年度決算(案)について
3. 2026年度事業計画(案)について
4. 2026年度予算(案)について
5. 2026年度役員(案)について

1. 2025年度事業報告（案）について

（1）学生の諸活動への援助

2025 年度の事業計画に基づき、学生活動の活発化に向けて、昨年度に引き続きサークル活動費や大学祭等のイベントへの助成を実施した。学外で活動するフィールドワーク助成や特別支援事業においては、申請増に向けた働きかけを行った結果、昨年度を上回る助成実績となった。また、全キャンパスにおける学生の昼食充実支援では、多くの学生が利用する結果となった。

あわせて、最終年度を迎えた学園創立 70 周年記念事業（2023～2025 年度）と連携し、会員・大学・同窓会相互の交流促進にも取り組んだ。

① 学生活動支援助成：助成総額 19,415,387 円

様々な学生支援事業に対して助成を行った。学生への褒賞・奨励では、地域貢献活動やスポーツ等で活躍した学生に表彰を行った。

<助成事業一覧>

- ・発災時における安否確認システムの運営費への一部助成：523,000 円
- ・サークル強化育成・公認サークル活性化事業助成：9,000,000 円
- ・サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励：1,119,630 円
- ・全サークルを対象とした高額備品等購入助成：3,540,696 円
- ・イベント事業への助成（各キャンパスの大学祭等）：2,550,000 円
- ・海外研修・調査奨励事業：1,891,371 円
- ・語学検定料助成：172,210 円
- ・短期留学助成：618,480 円
- ・文化・スポーツ応援活動事業 ※特別支援事業の「主務による表彰式」で助成

② 就職指導助成（就職活動支援資料や就職セミナーの開催等）：助成額 2,396,280 円

例年発刊している 3 年生向けの就職指導冊子「Future Note」と新 2 年生保護者対象の「親子就活のススメ」、求人リーフレット作成、就職支援書籍等の購入、教職オンライン講座への助成に加え、CDP 講座受講料補助（1 人あたり最大 3,000 円、4 年目）を行った。

③ 通信教育部助成（通信教育部学生の学習支援）：助成額 578,967 円

通信課程に在学する学生が全国各地で開催する地域学習会の運営経費補助および障害学生向けの情報保障等に対して助成を行った。

④ 奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）：助成額 2,000,000 円

大学の独自奨学制度（日本福祉大学経済援助給付奨学金）の一部として助成を行った。

- ⑤ 資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）：助成額 4,395,440 円
各種国家資格取得のための対策講座に以下のとおり助成を行った。

＜助成事業一覧＞

- ・健康科学部リハビリテーション学科における国家試験対策支援：1,003,840 円
- ・社会福祉学部における社会福祉士および精神保健福祉士国家試験の合格率向上に向けた取り組み：2,481,600 円
- ・看護学部における国家試験対策講座支援：910,000 円

《参考：（ ）内は学内新卒合格率》

- ・第 38 回社会福祉士国家試験：新卒合格者 163 名（合格率 74.8%）
通学課程新卒合格者数 全国大学 1 位
- ・第 28 回精神保健福祉士国家試験：新卒合格者 18 名（合格率 85.7%）
- ・第 115 回看護師国家試験：新卒合格者 80 名（合格率 88.9%）
- ・第 61 回理学療法士国家試験：新卒合格者 38 名（合格率 97.4%）
- ・第 61 回作業療法士国家試験：新卒合格者 33 名（合格率 100%）
- ・第 38 回介護福祉士国家試験：新卒合格者 23 名（合格率 100%）

- ⑥ フィールドワーク助成：助成額 3,037,253 円

＜助成事業一覧＞

- ・フィールドワーク（地域連携教育・他職種連携教育）を通じた学びの質向上およびキャリア支援：245,540 円
- ・NAGANO×NFU 地域デザインラボ（長野県南信地域：辰野町・飯田市・伊那市）でのフィールドワーク）：1,237,206 円
- ・山形県最上町でのフィールドワーク 地域の魅力調査：689,132 円
- ・長野県宮田村での留学生交流事業：330,000 円
- ・歩いて感じる伊那まちラボ 2025 駅前商店街から考えるウォークアブルなまちづくり：535,375 円

- ⑦ 特別支援事業（年度途中で大学が計画した学生支援事業や、各学部等からの申請に基づく諸事業に対する助成）：助成額 4,151,821 円

＜助成事業一覧＞

- ・学生による大学公式 SNS 広報スタッフ育成・運用事業：2,399,900 円
- ・キャリア支援 DX：LINE による情報配信最適化：639,210 円
- ・主務による表彰式：31,717 円
- ・日本福祉大学スタートアップセンター開設記念企画 Inspire & Activate～未来へのチャレンジ～ 「未来へのチャレンジ実行委員会」：276,374 円
- ・学生主導による車椅子ハンドボール体験会の開催：30,660 円
- ・生協食堂を利用した学生の昼食の充実支援：773,960 円
12 月に豚汁を 11 円で提供（88 円助成）。合計 8,795 食で生協利用者約 7 割が注文。

(2) 会員と大学との交流

昨年度に引き続き、保護者対象のオンライン就職説明会や学部別保護者懇談会を実施し、昨年度を上回る多くの後援会員にご参加いただいた。大学との共催による「学園創立 70 周年記念シンポジウム」を 2 回開催し、500 名を超える方に参加いただき、大学の情報発信や会員同士の交流を図った。また、定例総会時にはコロナ禍以降見合わせていた後援会員を対象にした昼食懇親会を 5 年ぶりに再開した。

- ① 6 月 7 日（土）：第 37 回後援会定例総会、後援会幹事会、学園創立 70 周年シンポジウム（講師：垣内俊哉氏）等を開催（計 298 名参加）。
- ② 10 月 18 日（土）：学園創立 70 周年記念シンポジウム（講師：水野明久氏）を開催（207 名参加）。
- ③ 12 月 6 日（土）：後援会幹事会を開催。
- ④ 7 月 27 日（日）：保護者会員対象オンライン就職説明会を開催（計 143 名参加）。
なお、後日のアーカイブ視聴回数は 82 回であった。
- ⑤ 8 月以降：全国 7 会場（盛岡、松山、伊那、広島、富山、熊本、鳥取）にてセミナーを開催（計 658 名参加）。
- ⑥ 学部共同企画：全学部を対象とした「学部別保護者懇談会」を開催（計 520 名参加）。
- ⑦ 法人会員向け事業：上記①②の学園創立 70 周年記念シンポジウムを対象事業とし、単独での開催はなし。

【参加実績まとめ】

当年度延べ参加者数：1,826 名

（参考）2024 年度：1,894 名、2023 年度：2,471 名（うち「社会福祉セミナー in 東京」1,287 名）

(3) 広報・通信事業

会員への情報発信を目的に、保護者向け情報の掲載・更新を行った。また福祉への理解を深めていただく目的で、『はじめてのふくし』（冊子）の送付を行った。

- ・後援会会報誌『エスパシオ』38 号を発刊し、ホームページでの公開も行った。
- ・通学課程新入生保護者向け『別冊エスパシオ』38 号を後援会ホームページで公開した。
- ・後援会ホームページの充実を図った。
(大学セミナー開催報告、法人会員向けページの更新等)
- ・本学が提唱する「ふくし」の広さと奥深さを様々な視点や事例を参考に、わかりやすくまとめた冊子『はじめてのふくし』を会員（新入生保護者）に送付した。

(4) 記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の書籍を入学記念品として贈呈した。

- ・書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』
(星野貞一郎著、中央法規、2011)

(5) その他

- ①学園創立 80 周年に向けて、特別会計（大学記念事業資金積立）に 1,500 万円を積み立てた。

以上

２．２０２５年度決算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部

2025年4月1日～2026年3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
会 費	69,712,500	71,342,500	△ 1,630,000	普通会員1,591名、法人会員52社
雑 収 入	20,000	193,268	△ 173,268	利息等
前年度繰越金	15,149,085	15,149,085	0	
合 計	84,881,585	86,684,853	△ 1,803,268	

支出の部

2025年4月1日～2026年3月31日

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
１．運営費	2,220,000	1,982,944	237,056	
１）役員会費	300,000	220,769	79,231	交通費等
２）人件費	1,700,000	1,676,180	23,820	事務員給与
３）印刷費	150,000	22,660	127,340	案内状印刷費等
４）事務費	70,000	63,335	6,665	振込手数料、郵送代等
２．事業費	19,300,000	17,239,841	2,060,159	
１）総会・講演会費	6,500,000	4,403,369	2,096,631	案内発送、新聞広告費、会場費（含昼食懇談会）等
２）会報費	6,500,000	6,435,252	64,748	会報「エスパシオ」（38号・38号別冊）、「はじめてのふくし」制作費
３）出版物郵送費	1,000,000	531,171	468,829	会報「エスパシオ」38号、「はじめてのふくし」郵送費
４）地域講演会費	5,000,000	4,770,049	229,951	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費等
５）法人向け事業費	300,000	1,100,000	△ 800,000	新聞広告費（記念講演会）
６）ホームページ制作費	0	0	0	
７）動画コンテンツ制作費	0	0	0	
３．助成事業費	40,700,000	35,975,148	4,724,852	
１）学生活動支援助成費	21,000,000	19,415,387	1,584,613	安否確認システム運営費、サークル強化育成・公認サークル活性化、活躍学生褒賞・奨励、高額備品購入、イベント事業、海外研修・調査奨励事業、語学検定料、短期留学等の助成費
２）就職指導助成費	3,000,000	2,396,280	603,720	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
３）通信教育部助成費	700,000	578,967	121,033	通信生スクーリング助成費等
４）奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
５）資格取得支援助成費	5,000,000	4,395,440	604,560	資格対策講座受講費等
６）フィールドワーク助成費	4,000,000	3,037,253	962,747	
７）特別支援事業費	5,000,000	4,151,821	848,179	年度途中で申請された学生支援事業助成
４．入学記念品費	1,200,000	1,075,976	124,024	入学記念品購入費
５．予備費	6,461,585	73,870	6,387,715	
６．大学記念事業資金積立	15,000,000	15,000,000	0	大学記念事業資金積立への繰り入れ
７．特別学生支援事業費	0	0	0	
８．次年度繰越金	0	15,337,074	△ 15,337,074	
合 計	84,881,585	86,684,853	△ 1,803,268	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

2025年4月1日～2026年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
前年度繰越金	15,261,622	15,261,622	0	
当年度繰入金	15,000,000	15,000,000	0	
利息収入	3,750	13,054	△ 9,304	
合計	30,265,372	30,274,676	△ 9,304	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
学園70周年記念事業協力金	0	0	0	学園への寄付
残高証明書発行手数料	1,624	0	1,624	一般会計の部の残高証明書に合わせて記載のため不要
合計	1,624	0	1,624	

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
次年度繰越金（収入-支出）	30,263,748	30,274,676	△ 10,928	(A)

②特別学生支援助成費

2025年4月1日～2026年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
前年度繰越金	100,004,026	100,004,026	0	
当年度繰入金	0	0	0	
利息収入	25,000	21,210	3,790	
合計	100,029,026	100,025,236	3,790	

支出の部

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
残高証明書発行手数料	550	550	0	
合計	550	550	0	

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
次年度繰越金（収入-支出）	100,028,476	100,024,686	3,790	(B)

項 目	予 算 額	決 算 額	差 引	備 考
特別会計の部 合計	130,292,224	130,299,362	△ 7,138	(A) + (B)

【2025年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	15,337,074
特別会計の部 合計	130,299,362
総 資 産 額	145,636,436

日本福祉大学後援会監査報告書

2026 年 5 月 16 日（土）

日本福祉大学後援会
会長 安 川 彰 吉 殿

監査 山田 祐輔

監査 御厨 麻紀子

日本福祉大学後援会の 2025 年度決算にかかる決算諸表ならびに諸帳票について監査を行いました。

監査の結果、計算書類ならびに諸帳票は、適正に記録されていることを認めます。

以上、ご報告いたします。

以 上

3. 2026年度事業計画（案）について

本会会則第2条（目的及び事業）に基づき、2026年度も学生の教育や研究活動に対する後援・援助に向けた事業を推進する。特に、学生がキャンパス外で学びを深めるフィールドワークは、主体性や社会性を育む貴重な機会であることから、本年度も引き続きその活性化に重点を置く。

また、昨年度に試行し好評を得た食の支援策「生協食堂を利用した昼食支援事業」については、内容の充実を図り本格的に実施する。

これまで全国各地で開催してきた大学セミナーについては、近年の参加動向を鑑みて開催内容を見直し、会員の参加が多い学部別保護者懇談会や、本学の就職支援制度を紹介する説明会に重点を置いて実施する。

サークルのキャンパス間移動や学外活動における移動費の助成拡充等を含む課外活動支援について、大学の担当部局との検討を進める。

1) 学生の諸活動への援助

(1) 学生への助成事業

① 学生活動支援助成

- ・ 発災時における安否確認システムの運営費への一部助成
- ・ サークル強化育成・公認サークル活性化事業助成
- ・ サークル・課外活動の各分野で活躍した学生への褒賞・奨励
- ・ 全サークルを対象とした高額備品購入助成
- ・ イベント事業への助成（各キャンパスでの大学祭等）
- ・ 海外研修・調査奨励事業（オンラインを含む）への助成
- ・ 語学検定料助成
- ・ 短期留学（オンラインを含む）助成
- ・ 文化・スポーツ応援活動事業への助成（学生同士が互いに応援し、励ましあう文化を醸成できるよう、活動報告会をはじめとしたイベント等への経費援助：第20回アジア競技大会及びアジアパラ競技大会（2026/愛知・名古屋）を対象とする）
- ・ 生協食堂を利用した学生の食の充実支援として、生協食堂半額ウィーク企画を検討・実施する（後期）。
- ・ 経済学部開設50周年事業への助成

② 就職指導助成

- ・ 就職活動支援資料助成
- ・ CDP（キャリアデベロップメントプログラム）講座受講料の割引（1人3千円の助成）

③ 通信教育部助成（地域学習会をはじめ障害学生用テキストデータの作成等）

④ 奨学助成（経済援助給付型奨学金の一部として）

⑤ 資格取得支援助成（資格取得に際する対策等への支援）

⑥ フィールドワーク助成（大学と協定を結ぶ団体等と共同で実施するフィールドワー

ク事業に対する支援)

⑦特別支援事業（年度途中で大学が計画した学部横断的な学生支援事業に基づく諸事業に対して、弾力的な援助を行う）

（２）学生活動支援助成事業贈呈式を開催する（12月12日（土）後援会幹事会時に行う）。

2) 会員と大学との交流

（１）後援会幹事会（6月28日（日）および12月12日（土））の開催

（２）後援会第38回定例総会（6月28日（日））の開催

（３）2026年度日本福祉大学後援会実施事業一覧（大学セミナー等）

開催日	開催地	テーマ	講師等
6月28日 （日）	愛知県 名古屋市	“Well-being for All”の実現に向けて ～豊田通商における共生と社会課題解決 への取り組み～	加留部 淳氏（豊田通商株式会社 シニアエグゼクティブアドバイザー）
7月26日 （日）	オンライン	日本福祉大学の就職支援・制度 紹介セミナー	曾我部敦介 就職部長
9月21日 （月・祝）	静岡県 静岡市	ダウン症の娘（こ）と共に生きて ～翔子とのこれまで歩み～	金澤泰子 客員教授 金澤翔子 客員准教授
11月14日 （土）	北海道 函館市 YouTube 配信併用	誰もが地域で自分らしく暮らすために～ 地域で支える「ひきこもり」支援～ ※基調講演（第1部）・記念講演（第2部） ・パネルディスカッション（第3部）	斎藤環氏（つくばダイアログハウス院長・精神科医） 菊池まゆみ氏（社会福祉法人藤里町社会福祉協議会会長）、 他

（４）学部別の保護者懇談会等の開催

キャンパス	学部	開催日	開催形式
美浜	社会福祉学部	9月12日（土）AM	対面形式
	教育・心理学部	9月12日（土）AM	対面形式
	スポーツ科学部	9月12日（土）AM	ハイブリッド形式
半田	健康科学部	4月18日（土）AM・PM	ハイブリッド形式 （学科・専修による）
	工学部		
東海	看護学部	9月12日（土）AM	対面形式
	経済学部	9月12日（土）AM・PM	対面形式
	国際学部/国際福祉開発学部	9月19日（土）PM	対面形式

（５）法人会員を対象とした事業を実施する。あわせて法人会員の拡充に向けた取り組みを行う。

3) 広報・通信事業

- (1) 後援会会報誌『エスパシオ』を発刊し、後援会ホームページで公開する。
- (2) 通学課程新入生保護者向け学生生活ガイド『別冊エスパシオ』を後援会ホームページで公開する。
- (3) 後援会ホームページの充実
掲載コンテンツ：大学近況報告、保護者向け就職情報の掲載等
- (4) 『はじめてのふくし』の送付
本学が提唱する「ふくし」の広さと奥深さを様々な視点や事例を参考に、分かりやすくまとめた冊子『はじめてのふくし』を会員にお送りし、福祉への理解を深めていただく（通学課程 新入生保護者対象）。

4) 記念品贈呈事業

通学課程の新入生全員に下記の入学記念品を贈呈する。

- ・書籍：『日本の福祉を築いたお坊さん—日本福祉大学を創った鈴木修学上人の物語』
(星野貞一郎著、中央法規、2011)

5) その他

学園創立 80 周年に向けて、特別会計（大学記念事業資金積立）に 1,500 万円の積立を行う。

以上

4. 2026年度予算（案）について

【一般会計の部】（単位：円）

収入の部

2026年4月1日～2027年3月31日

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
会 費	71,850,000	71,342,500	507,500	普通会員1,575名、法人会員50社分
雑 収 入	110,000	193,268	△ 83,268	利息
前 年 度 繰 越 金	15,337,074	15,149,085	187,989	
合 計	87,297,074	86,684,853	612,221	

支出の部

2026年4月1日～2027年3月31日

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
1. 運営費	2,220,000	1,982,944	237,056	
1) 役員会費	300,000	220,769	79,231	交通費等
2) 人件費	1,700,000	1,676,180	23,820	事務員給与
3) 印刷費	150,000	22,660	127,340	案内状、封筒印刷費等
4) 事務費	70,000	63,335	6,665	振込手数料、事務用品等
2. 事業費	18,300,000	17,239,841	1,060,159	
1) 総会・講演会費	8,000,000	4,403,369	3,596,631	案内発送、講師料、新聞広告費、会場費（含昼食懇親会）等
2) 会報費	6,500,000	6,435,252	64,748	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」制作費
3) 出版物郵送費	1,000,000	531,171	468,829	会報「エスパシオ」「はじめてのふくし」郵送費
4) 地域講演会費	2,500,000	4,770,049	△ 2,270,049	大学セミナー会場開催費、社会福祉セミナー開催費、学部別保護者懇談会開催費等
5) 法人会員関連事業費	300,000	1,100,000	△ 800,000	
6) ホームページ制作費	0	0	0	（今年度は予算執行予定なし）
7) 動画コンテンツ制作費	0	0	0	（今年度は予算執行予定なし）
3. 助成事業費	44,500,000	35,975,148	8,524,852	
1) 学生生活支援助成費	24,800,000	19,415,387	5,384,613	安否確認システム運営費、サークル強化育成・公認サークル活性化、活躍学生褒賞・奨励、高額備品購入、イベント事業、海外研修・調査奨励事業、語学検定料、短期留学、文化・スポーツ応援活動事業、食の充実支援、経済学部50周年事業等
2) 就職指導助成費	3,000,000	2,396,280	603,720	就職支援冊子制作費、CDP講座受講助成等
3) 通信教育部助成費	700,000	578,967	121,033	通信生スクーリング助成費等
4) 奨学助成費	2,000,000	2,000,000	0	奨学助成費原資の一部
5) 資格取得支援助成費	5,000,000	4,395,440	604,560	資格対策講座受講費等
6) フィールドワーク助成費	4,000,000	3,037,253	962,747	
7) 特別支援事業費	5,000,000	4,151,821	848,179	年度途中に申請された学生支援事業助成等
4. 入学記念品費	1,200,000	1,075,976	124,024	入学記念品購入費
5. 予備費	6,077,074	73,870	6,003,204	
6. 大学記念事業資金積立	15,000,000	15,000,000	0	大学記念事業積立資金への繰り入れ
7. 特別学生支援事業費	0	0	0	（今年度は予算執行予定なし）
8. 次年度繰越金	0	15,337,074	△ 15,337,074	
合 計	87,297,074	86,684,853	612,221	

【特別会計の部】（単位：円）

①大学記念事業資金積立金

2026年4月1日～2027年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
前年度繰越金	30,274,676	15,261,622	15,013,054	
当年度繰入金	15,000,000	15,000,000	0	
利息収入	13,054	13,054	0	定期預金利息
合計	45,287,730	30,274,676	15,013,054	

支出の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
残高証明書発行手数料	0	0	0	
合計	0	0	0	

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
大学記念事業資金積立金 合計	45,287,730	30,274,676	15,013,054	(A)

②特別学生支援助成費

2026年4月1日～2027年3月31日

収入の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
前年度繰越金	100,024,686	100,004,026	20,660	
当年度繰入金	0	0	0	
利息収入	230,000	21,210	208,790	普通預金利息＋定期預金利息
合計	100,254,686	100,025,236	229,450	

支出の部

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
残高証明書発行手数料	550	550	0	
合計	550	550	0	

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
特別学生支援助成費 合計	100,254,136	100,024,686	229,450	(B)

項 目	予 算 額	前年度決算額	差 引	備 考
特別会計の部 合計	145,541,866	130,299,362	15,242,504	(A)+(B)

【2026年度後援会総資産高】（単位：円）

一般会計の部 次年度繰越金	0
特別会計の部 合計	145,541,866
総 資 産 額	145,541,866

5. 2026年度役員（案）について

本会会則第5条、第6条及び第8条に基づき役員の改選を以下の通り提案する。

1) 退任役員

会長	安川 彰吉	元愛知製鋼株式会社 取締役会長
副会長	宮木 正彦 ※	ブラザー工業株式会社 取締役 元株式会社デンソー 代表取締役副社長 元株式会社豊田中央研究所 代表取締役副会長
副会長	安藤 直樹	前名古屋鉄道株式会社 常務執行役員
幹事	各務 元浩	保護者
幹事	福田 仁志	保護者
幹事	臼井 邦彰	保護者
幹事	山本 るりこ	保護者
幹事	樋口 敏朗	保護者
幹事	尾崎 祐子	保護者
幹事	後藤 武志	保護者
幹事	加藤 京子	保護者
幹事	岩田 律子	保護者
幹事	榊原 英夫 ※	保護者
監査	山田 祐輔 ※	保護者

※役職の異動

2) 新任役員

会長	宮木 正彦 ※	ブラザー工業株式会社 取締役 元株式会社デンソー 代表取締役副社長 元株式会社豊田中央研究所 代表取締役副会長
副会長	初山 貢	名古屋鉄道株式会社 専務執行役員
幹事	山田 祐輔 ※	保護者
幹事	相澤 里奈	保護者
幹事	今枝 真弓	保護者
幹事	奥田 祐	保護者
幹事	坂田 裕介	保護者
幹事	山田 美雪	保護者
幹事	泉川 みのり	保護者
幹事	大木 彩友美	保護者
幹事	瀬瀬 純司	保護者
監査	榊原 英夫 ※	保護者

※役職の異動

3) 2026 年度役員一覧

会長	宮木 正彦	ブラザー工業株式会社 取締役 元株式会社デンソー 代表取締役副社長 元株式会社豊田中央研究所 代表取締役副会長	新任 ※
副会長	榊原 康弘	半田商工会議所 顧問	留任
副会長	初山 貢	名古屋鉄道株式会社 専務執行役員	新任
副会長	森田 美奈子	保護者	留任
副会長	花井 智	保護者	留任
幹 事	山田 祐輔	保護者	新任 ※
幹 事	梶田 明敬	保護者	留任
幹 事	山野井 陵子	保護者	留任
幹 事	岡元 愛	保護者	留任
幹 事	羽田 ゆき	保護者	留任
幹 事	佐々木 みづき	保護者	留任
幹 事	岩田 浩希	保護者	留任
幹 事	河竹 貴子	保護者	留任
幹 事	浅井 紳一郎	保護者	留任
幹 事	亀井 三千	保護者	留任
幹 事	榊原 由子	保護者	留任
幹 事	梶田 麻子	保護者	留任
幹 事	近本 康弘	保護者	留任
幹 事	榊原 康博	保護者	留任
幹 事	定 雅博	保護者	留任
幹 事	間島 大心	保護者	留任
幹 事	榊原 寛司	保護者	留任
幹 事	寺村 和政	保護者	留任
幹 事	松村 奈津子	保護者	留任
幹 事	相澤 里奈	保護者	新任
幹 事	今枝 真弓	保護者	新任
幹 事	奥田 祐	保護者	新任
幹 事	坂田 裕介	保護者	新任
幹 事	山田 美雪	保護者	新任
幹 事	泉川 みのり	保護者	新任
幹 事	大木 彩友美	保護者	新任
幹 事	瀬瀬 純司	保護者	新任
幹 事	小松 理佐子	日本福祉大学教職員	留任
幹 事	大口 将	日本福祉大学教職員	留任
幹 事	亀山 哲也	日本福祉大学教職員	留任

監 査	御厨 麻紀子	保護者	留任
監 査	榊原 英夫	保護者	新任 ※
相談役	鴻池 一季	元株式会社鴻池組名誉会長	留任

※役職異動

日本福祉大学後援会会則

第1章 総則

第1条

本会は、日本福祉大学後援会と称し事務局を日本福祉大学研究本館内に置く。

2 本会は、必要に応じ地方に支部を置くことができる。

第2章 目的及び事業

第2条

本会は、日本福祉大学の教育と研究活動に対する後援・援助及び文化的諸事業等をととして、大学の充実・発展を図り、もって我が国の文化の向上に寄与することを目的とする。

第3条

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- (1)大学の教育・研究活動への後援
- (2)学生の諸活動への援助
- (3)文化的諸事業の実施
- (4)大学と会員との交流
- (5)その他必要と認められる事業

第3章 組織及び役員

第4条

本会は、本会の趣旨に賛同した次の会員をもって組織する。

- (1)普通会員
 - ①普通会員会費を納入した学生の保護者
 - ②普通会員会費を納入したその他の者
- (2)法人会員 法人会員会費を納入した者
- (3)特別会員 本会の事業に対して、専門的な協力を行う者
- (4)賛助会員 寄付金等により本会を援助した者

第5条

本会に次の役員等を置く。

- (1)会長 / 1名
- (2)副会長 / 若干名
- (3)幹事 / 若干名
- (4)監査 / 2名
- (5)支部長 / 各支部に1名
- (6)相談役 / 若干名
- (7)顧問 / 若干名
- (8)事務局長 / 1名

2 前項第1号から第4号の者をもって役員とする。

3 本会に名誉会長をおくことができる。

第6条

役員等は普通会員・法人会員・特別会員の中から選任する。

2 役員等の選任は、次の方法による。

- (1) 会長、副会長、幹事及び監査は、総会において選任する。
- (2) 名誉会長は、会長が委嘱する。
- (3) 相談役及び顧問は、会長が委嘱する。
- (4) 支部長は、会長が委嘱する。
- (5) 事務局長は、会長が任命する。

3 前第1項及び前第2項にかかわらず、会長は総会の承認をへて大学教職員の中から3名程度を幹事に委嘱することができる。

第7条

役員等の任務は次の通りとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、定例総会、臨時総会、幹事会を招集し、会務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときは、その職務を代理する。
- (3) 幹事は、正副会長とともに本会の事業の企画・遂行に必要な立案並びに処理にあたる。
- (4) 監査は、本会の会計監査にあたる。
- (5) 支部長は、地方会員の連絡にあたり、本会の事業に協力する。
- (6) 相談役は、本会への助言等にあたる。
- (7) 顧問は、会長の諸問に応じる。
- (8) 事務局長は、会長の命を受け、事務を統括する。

第8条

役員等の任期は1年とする。但し、再任をさまたげない。

第4章 会議

第9条

本会の会議は、定例総会、臨時総会、幹事会の3種とする。

- (1) 定例総会は、毎年1回春季に開催し、会計・会務の報告、予算の承認、役員の選出、その他必要な事項を付議決定する。
- (2) 臨時総会は、会長が必要と認めた場合、又は会員の3分の1の申し出がある場合、臨時開催する。
- (3) 幹事会は、第5条第1号から第3号の者をもって構成し、必要に応じて開催する。

第10条

議事は、出席者の過半数をもって決定し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。但し、会則の改正は、総会出席者の3分の2以上の同意を要する。

第5章 会計

第11条

本会の経費は、会費、寄付金及び資産から生じる果実をもってあてる。

第12条

本会の会費は、次のとおりとする。

(1) 普通会员

① 第4条(1)①に該当する会員

在学中分	50,000 円
2 年次編入学生	37,500 円
3 年次編入学生	25,000 円
通信教育課程	10,000 円

会費は入学手続き時に、一括して納入するものとする。

② 第4条(1)②に該当する会員 年額 10,000 円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

(2) 法人会員 年額 30,000 円

会費は、年度初めに受け付けるものとする。但し、申し出により随時受け付けることができる。

第13条

本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

第14条

本会の資金の管理及び処分に関する必要事項は、総会の決議にもとづき 会長が定める。

第6章 事務局

第15条

本会の業務を処理するために事務局を置く。

2 事務局は、大学に委託する。

第7章 会則の改廃

第16条

この会則の改廃は、総会の議を経て行うものとする。

付則

1. この会則は、昭和63年12月10日より制定施行する。
2. この会則は、平成3年6月1日より一部改正施行する。
3. この会則は、平成4年6月27日より一部改正施行する。
4. この会則は、平成12年7月1日より一部改正施行する。
5. この会則は、平成15年7月13日より一部改正施行する。